vinetur

世界ワイン貿易グループ、持続可能なワイン栽培に関するステレンボッシュ原則を採択

米当局者は、自主的な指針が国境を越えたワイン販売に新たな障壁を設けず、持続可能な取り組みを促すと述べた。

2026年11月20日（金）



アルコール・たばこ税貿易管理局（TTB）は11月20日（金）、南アフリカのステレンボッシュで開かれた国際ワイン貿易協議に同局の職員が参加したと発表した。各国の規制当局と業界関係者が、低アルコール・ノンアルコール製品、デジタル表示、持続可能性、包装規則など、世界のワイン事業に影響するさまざまな課題について話し合った。

TTBによると、国際業務部門と法務顧問室の代表者が、米国代表団の一員として11月1～4日に開催されたWorld Wine Trade Groupの会合に出席した。同局によると、会合には主要ワイン生産国の政

府および業界の代表者が集まり、新たな規制課題や、消費者保護を維持しながら国境を越えたワイン貿易を円滑にする方法を検討した。

TTBによると、米当局者は、ワシントン州のColumbia Hills AVAの設立を含む、米国のAmerican Viticultural Area（AVA）に関する最近の動向を報告した。また同局は、エネルギー量とカロリー量の算出に関する指針、およびデジタル表示に関する規制原則の策定にも参加したという。消費者の需要の変化や新技術に生産者と規制当局が対応するなか、これら2分野の重要性が高まっている。

会合の主な成果の一つは、ステレンボッシュ原則の採択だった。TTBは、政府が持続可能なワイン栽培を支援しつつ、新たな貿易障壁を設けないための自主的な指針と説明した。同局は原則に伴う拘束力のある政策変更を発表していないが、主要ワイン輸出国間で規制のあり方を調和させる、より広範な取り組みの一環として成果を位置づけた。

World Wine Trade Groupは1998年に設立され、政府と業界の協力のための場となっている。加盟国はアルゼンチン、オーストラリア、カナダ、チリ、ジョージア、ニュージーランド、南アフリカ、米国、ウルグアイ。同グループは情報共有や規制課題の協議、規制当局による消費者保護を可能にしながら貿易障壁を減らす共同の取り組みを重視していると、TTBは述べた。

同局のニュースレターはまた、TTBが所管する既存の情報収集2件について、意見を募集する連邦政府の別の告示を紹介した。同局によると、この要請は1995年ペーパーワーク削減法で定められた手続きの一環であり、再承認を求めて行政管理予算局（OMB）に提出する前に、書類作業と回答者の負担を減らすことを目的としている。

対象となるのは、醸造業者の届出（TTB Form 5130.10）および醸造業者が提出するレターヘッド付き申請書・届出を扱うOMB No. 1513-0005と、合衆国法典第26編5181条に基づくアルコール燃料生産者許可の申請（TTB Form 5110.74）を扱うOMB No. 1513-0051。TTBによると、一般から寄せられた意見はOMBへの申請に収録または要約され、公開記録の一部となる。

同局によると、書面での意見は2027年1月12日までに受領されなければならない。電子的な意見は、Regulations.govでDocket No. TTB-2026-0001を指定し、「Proposed Information Collections; Comment Request (No. 100)」と題する告示を通じて提出できる。郵送で意見を提出する場合は、公開された告示の指示に従うようTTBは呼びかけている。

TTBはニュースレターで、感謝祭にあたる11月26日（木）は同局の事務所が休業すると読者に伝えた。また、次回のニュースレターは12月4日（金）に配信予定としている。

同局は、TTBの規制対象業界の事業者に関係する可能性があるとして、内務省の告示も掲載した。告示は、Hunting and Shooting Sports Conservation and Access Councilの委員候補者を募集するもの。同評議会は、野生生物と生息地の保全、官民連携、狩猟・射撃スポーツに関する政策、およびこれらの活動への一般市民のアクセスについて、内務長官と農務長官に提言する連邦諮問機関である。推薦の締め切りは11月30日。

同じニュースレターでTTBは、ブラジル、カナダ、インド、日本、韓国、メキシコなど、国際的な輸出入要件を扱う同局ウェブサイトの各国向けページをいくつか紹介した。また、同局が参加を予定する今後の業界向けイベントとして、1月26～28日のUnified Wine and Grape Symposium、2月1～4日のWSWA Access Live、2月2～3日のOregon Wine Symposiumを挙げた。

連邦レベルでアルコールとたばこの税・貿易関連事項を規制するTTBは、米国内外の市場アクセスや規制上の義務に影響し得る貿易協議、コンプライアンス上の課題、規則制定の動向について、生産者、輸入業者、卸売業者などに定期的にニュースレターで情報を提供している。